

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【公表番号】特表 2020-530801 (P2020-530801A)

【公表日】令和 2 年 10 月 29 日 (2020.10.29)

【年通号数】公開・登録公報 2020-044

【出願番号】特願 2020-508567 (P2020-508567)

【国際特許分類】

A 6 1 J 1/20 (2006.01)

A 6 1 M 39/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 J 1/20 3 1 4 C

A 6 1 M 39/10 1 0 0

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 3 年 6 月 10 日 (2021.6.10)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

流体容器との接続用アダプタであって、

遠端部、近端部、および、前記遠端部と前記近端部との間に延在する側壁、を有する外側ハウジングと、

前記外側ハウジング内に回転可能に挿入される本体部、前記本体部から延出して前記アダプタを流体容器に接続するように構成されたコネクタ、および、内側部材から延出する少なくとも一つの把持部材、を有する内側部材と、

前記内側部材に係合可能で当該内側部材の前記外側ハウジングに対する第一方向での回転を規制するように構成された第一ロック構造と、

前記内側部材に係合可能で前記内側部材の前記外側ハウジングに対する近位側方向の移動を規制するように構成された第二ロック構造と、を備え、

前記アダプタは、

前記第一ロック構造と前記第二ロック構造とがともに前記内側部材に係合しない非係合状態と、

前記第一ロック構造が前記内側部材に係合する第一完全係合状態と、

前記第二ロック構造が前記内側部材に係合する第二完全係合状態と、の間で移行可能である流体容器との接続用アダプタ。

【請求項 2】

前記コネクタが前記非係合状態にあるときには、前記内側部材は、前記第一方向と第二方向との両方において回転可能であり、

前記コネクタが前記第一完全係合状態にあるときには、前記内側部材は、前記第一方向に回転することが阻止され、

前記コネクタが前記第二完全係合状態にあるときには、前記内側部材は、前記第二方向に自由に回転することが阻止される請求項 1 に記載のアダプタ。

【請求項 3】

前記内側部材は、当該内側部材に対して圧縮力を加えることにより、延出位置から引退位置へと移行可能である請求項 1 に記載のアダプタ。

**【請求項 4】**

前記第一ロック構造は、前記外側ハウジングの前記側壁の内側表面から内側に延出する少なくとも一つの歯と、前記内側部材の前記本体部に設けられて前記側壁の前記歯に係合するように構成された対応する歯と、を有する請求項 1 に記載のアダプタ。

**【請求項 5】**

前記外側ハウジングの前記側壁の前記内側表面から内側に延出する前記少なくとも一つの歯と、前記内側部材の前記本体部上の前記対応する歯とは、アングル部分と、垂直ロック表面とを有する請求項 4 に記載のアダプタ。

**【請求項 6】**

前記第一ロック構造は、前記外側ハウジングの前記側壁の周方向内側表面回りで延出する複数の歯と、前記内側部材の前記本体部の遠端部から延出する複数の対応する歯と、を有する請求項 1 に記載のアダプタ。

**【請求項 7】**

前記第二ロック構造は、前記外側ハウジングの前記側壁の内側表面の一部に接続されるとともに前記内側部材の近位側表面に係合するように構成された少なくとも一つの内側に延出するロックタブを有する請求項 1 に記載のアダプタ。

**【請求項 8】**

前記第二ロック構造は、前記外側ハウジングの前記側壁の両面に配置された少なくとも二つの内側延出ロックタブを有する請求項 7 に記載のアダプタ。

**【請求項 9】**

前記少なくとも一つのロックタブは、前記内側部材に対して圧縮力を加えることによって前記タブが外側に付勢されて、前記内側部材を前記外側ハウジングに挿入するように構成されたロック表面を有する請求項 7 に記載のアダプタ。

**【請求項 10】**

前記コネクタは、前記流体容器の一部の内側表面の対応するネジ部に係合するように構成された螺旋状ネジ部が設けられた外側表面を有する請求項 1 に記載のアダプタ。

**【請求項 11】**

前記コネクタは、前記流体容器の対応するルアーコネクタを受けよう構成されたルアーコネクタを有する請求項 10 に記載のアダプタ。

**【請求項 12】**

前記少なくとも一つの把持部材は、前記内側部材の近位側表面から延出する二つの湾曲フランジを有し、これらの各湾曲フランジは、平面部分と、当該平面部分の各端部から延出するアングル部分とを有し、

前記湾曲フランジは、ユーザによって把持されて前記内側部材を、前記第一方向の反対である第二方向における前記内側部材の回転を防止するように構成されている請求項 1 に記載のアダプタ。

**【請求項 13】**

前記少なくとも一つの把持部材は、前記内側部材の近位側表面から延出する二つのバンブを有し、これら各バンブは実質的に半球形状を有し、

前記バンブは、ユーザがそれらを押して、前記内側部材が、前記第一方向の反対である第二方向における当該内側部材の回転を防止するように構成されている請求項 1 に記載のアダプタ。

**【請求項 14】**

前記少なくとも一つの把持部材は、前記コネクタ上に配置された二つのフランジを有し、各フランジは、前記コネクタの側方表面に沿って垂直に延出する垂直部分を備え、

前記フランジは、ユーザによって把持されて、前記内側部材の、前記第一方向の反対である第二方向における回転を防止するように構成されている請求項 1 に記載のアダプタ。

**【請求項 15】**

前記フランジの一つは、前記コネクタから水平に、かつ、前記垂直部分に対して垂直に延出する水平部分を有する請求項 14 に記載のアダプタ。

## 【請求項 16】

前記少なくとも一つの把持部材は、前記コネクタから水平に、かつ、前記本体部から垂直に延出する親指係止部を有し、

前記親指係止部は、ユーザによって把持されて前記内側部材の前記第一方向の反対である第二方向における回転を防止するように構成されている請求項 1 に記載のアダプタ。

## 【請求項 17】

前記少なくとも一つの把持部材は、前記内側部材の前記本体部に形成された溝を有し、

前記溝は、ユーザによって把持されて前記内側部材の前記第一方向の反対である第二方向における回転を防止するように構成されている請求項 1 に記載のアダプタ。

## 【請求項 18】

流体容器をアダプタから接続解除する方法であって、

遠端部、近端部、および、前記遠端部と前記近端部との間に延在する実質的に円筒状の側壁、を有する外側ハウジングと、

前記外側ハウジング内に回転可能に挿入される本体部、前記本体部から延出して前記アダプタを流体容器に接続するように構成されたコネクタ、および、内側部材から延出するとともに前記アダプタのユーザによって把持されるように構成された少なくとも一つの把持部材、を有する内側部材と、

前記内側部材の遠端部に係合可能で当該内側部材の前記外側ハウジングに対する第一方向での回転を規制するように構成された第一ロック構造と、

前記内側部材の近端部に係合可能で前記内側部材の前記外側ハウジングに対する近位側方向の移動を規制するように構成された第二ロック構造と、を備える前記アダプタを用意する工程と、

前記少なくとも一つの把持部材を把持する工程と、

前記流体容器を前記アダプタに向けて軸心方向に移動させる工程と、

前記流体容器を回転させて当該流体容器を前記アダプタの前記内側部材から接続解除する工程と、を含む流体容器をアダプタから接続解除する方法。

## 【請求項 19】

前記少なくとも一つの把持部材は、前記内側部材の近位側表面から延出する二つの湾曲フランジを有し、これらの各湾曲フランジは、平面部分と、当該平面部分の各端部から延出するアングル部分とを有し、

前記湾曲フランジは、ユーザによって把持されて前記内側部材を、前記第一方向の反対である第二方向における前記内側部材の回転を防止するように構成されている請求項 18 に記載の方法。

## 【請求項 20】

前記少なくとも一つの把持部材は、前記コネクタ上に配置された二つのフランジを有し、各フランジは、前記コネクタの側方表面に沿って垂直に延出する垂直部分を備え、

前記フランジは、前記ユーザによって把持されて、前記内側部材の、前記第一方向の反対である第二方向における回転を防止するように構成されている請求項 18 に記載の方法。

## 【請求項 21】

流体容器との接続用アダプタであって、

遠端部、近端部、および、遠端部と近端部との間に延在する側壁、を有する外側ハウジングと、

前記外側ハウジングの前記近端部に取り付けられたハブカバーと、

前記外側ハウジング内に回転可能に挿入される本体部、および、前記本体部から延出して前記アダプタを流体容器に接続するように構成されたコネクタ、を有する内側部材と、

外側ハウジングに係合可能で当該内側部材の前記外側ハウジングに対する第一方向での回転を規制するように構成された第一ロック構造と、

外側ハウジングに係合可能で前記内側部材の前記外側ハウジングに対する近位側方向の移動を規制するように構成された第二ロック構造と、を備え、

前記アダプタは、

前記第一ロック構造と前記第二ロック構造との両方が前記内側部材に係合されない非係合状態と、

前記第一ロック構造が前記外側ハウジングに係合する第一完全係合状態と、

前記第二ロック構造が前記外側ハウジングに係合する第二完全係合状態と、の間で移行可能である流体容器との接続用アダプタ。

【請求項 2 2】

前記ハブカバーは、前記外側ハウジングの前記近端部に一体に形成されるとともに、前記内側部材が前記外側ハウジングに接続されたときに、前記内側部材の回転可能な前記本体部を包囲するように構成されている請求項 2 1 に記載のアダプタ。

【請求項 2 3】

前記ハブカバーは、前記外側ハウジングに対する前記内側部材の回転を阻止するべく前記内側部材に接触するように実質的にフレキシブルである請求項 2 1 に記載のアダプタ。

【請求項 2 4】

前記コネクタが前記非係合状態にあるとき、前記内側部材は、前記第一方向と第二方向との両方において回転可能であり、

前記コネクタが前記第一完全係合状態にあるとき、前記内側部材は、前記第一方向での回転を阻止され、

前記コネクタが前記第二完全係合状態にあるとき、前記内側部材が自由に回転することを許容しながら、前記内側部材が前記ハウジングから近位側に抜け出すことが阻止される請求項 2 1 に記載のアダプタ。

【請求項 2 5】

前記内側部材は、当該内側部材に対して圧縮力を加えることによって、延出位置から引退位置へと移行可能である請求項 2 1 に記載のアダプタ。

【請求項 2 6】

前記第一ロック構造は、前記内側部材の内側表面から内側に延出する少なくとも一つの歯と、前記外側ハウジングに形成されて前記歯を前記内側部材に係合させるように構成された少なくとも一つの凹部、を有する請求項 2 1 に記載のアダプタ。

【請求項 2 7】

前記内側部材から内側に延出する前記少なくとも一つの歯と、前記外側ハウジングに形成された前記対応する凹部とは、アングル部分と垂直ロック表面とを有する請求項 2 6 に記載のアダプタ。

【請求項 2 8】

前記第二ロック構造は、前記内側部材の内側表面の一部分に接続されるとともに前記外側ハウジングの近端部から延出するロック突起に係合するように構成された少なくとも一つの内向き延出ロックタブを有する請求項 2 1 に記載のアダプタ。

【請求項 2 9】

前記少なくとも一つのロックタブは、前記内側部材に対して圧縮力を加えることによって前記ロックタブを外向きに付勢して前記内側部材を前記外側ハウジング内に挿入するように構成されたロック表面を有する請求項 2 8 に記載のアダプタ。

【請求項 3 0】

前記外側ハウジングの前記側壁は、前記アダプタを把持するときにユーザを補助する少なくとも一つの窪みを有している請求項 2 1 に記載のアダプタ。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 8】

本発明の第一の態様によれば、流体容器との接続用アダプタは、遠端部、近端部、およ

び、遠端部と近端部との間で延在する実質的に円筒状の側壁、を有する外側ハウジングと、当該外側ハウジング内に回転可能に挿入される本体部、本体部から延出してアダプタを流体容器に接続するように構成されたコネクタ、および、内側部材から延出し、アダプタのユーザによって把持されるように構成された少なくとも一つの把持部材、を有する内側部材と、内側部材の遠端部に係合可能で当該内側部材の外側ハウジングに対する第一方向での回転を規制するように構成された第一ロック構造と、内側部材の近端部に係合可能で内側部材の外側ハウジングに対する近位側方向の移動を規制するように構成された第二ロック構造と、を備える。アダプタは、第一ロック構造と第二ロック構造とがともに内側部材に係合しない非係合状態と、第一ロック構造が内側部材に係合する第一完全係合状態と、第二ロック構造が内側部材に係合する第二完全係合状態と、の間で移行可能である。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0010

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0010】

本発明の別の態様において、流体容器をアダプタから接続解除する方法は、アダプタを用意する工程、少なくとも一つの把持部材を把持する工程、流体容器をアダプタに向けて軸心方向に移動させる工程、および、流体容器を回転させて当該流体容器をアダプタの内側部材から接続解除する工程、を含む。アダプタは、遠端部、近端部、および、遠端部と近端部との間で延在する実質的に円筒状の側壁、を有する外側ハウジングと、当該外側ハウジング内に回転可能に挿入される本体部、本体部から延出してアダプタを流体容器に接続するように構成されたコネクタ、および、内側部材から延出し、アダプタのユーザによって把持されるように構成された少なくとも一つの把持部材、を有する内側部材と、内側部材の遠端部に係合可能で当該内側部材の外側ハウジングに対する第一方向での回転を規制するように構成された第一ロック構造と、内側部材の近端部に係合可能で内側部材の外側ハウジングに対する近位側方向の移動を規制するように構成された第二ロック構造と、を備える。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0012

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0012】

本発明の別の態様において、流体容器との接続用アダプタは、遠端部、近端部、および、遠端部と近端部との間に延在する側壁、を有する外側ハウジングと、当該外側ハウジングの近端部に取り付けられたハブカバーと、当該外側ハウジング内に回転可能に挿入される本体部、および、本体部から延出してアダプタを流体容器に接続するように構成されたコネクタ、を有する内側部材と、外側ハウジングに係合可能で当該内側部材の外側ハウジングに対する第一方向での回転を規制するように構成された第一ロック構造と、外側ハウジングに係合可能で内側部材の外側ハウジングに対する近位側方向の移動を規制するように構成された第二ロック構造と、を備える。アダプタは、第一ロック構造と第二ロック構造との両方が内側部材に係合されない非係合状態と、第一ロック構造が外側ハウジングに係合する第一完全係合状態と、第二ロック構造が外側ハウジングに係合する第二完全係合状態と、の間で移行可能である。